

患者の皆様へ

2020年8月26日

千葉大学医学部附属病院 血液内科

現在、血液内科では、「治療関連急性骨髄性白血病において原発悪性腫瘍に対する治療が同種移植成績に及ぼす影響の検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2011年1月から2018年12月までの期間に初回同種移植を受けた治療関連急性骨髄性白血病の患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「治療関連急性骨髄性白血病において原発悪性腫瘍に対する治療が同種移植成績に及ぼす影響の検討」

2. 研究の意義・目的

日本造血細胞移植学会のデータベースに登録されている治療関連急性骨髄性白血病の患者さんを抽出し、原発性悪性腫瘍の詳細（癌腫、組織型、病期）と治療内容（抗がん剤の種類と投与回数、放射線療法の部位と線量）について二次調査を実施し、その結果をもとに、原発性悪性腫瘍およびその治療歴と、白血病の全生存率、非再発死亡、移植後合併症との関連を検討することを目的とします。この結果により、過去にがん治療歴を有する治療関連急性骨髄性白血病患者さんに対する同種移植療法の適正化や成績改善に寄与する因子を抽出し、より安全かつ有効な治療法を確立することができると考えています。

3. 研究の方法

本研究は、既に同意取得の上、日本造血細胞移植学会のデータベースに登録されている移植患者さんのデータを用いた調査研究であるため、侵襲性はなく、患者さんの治療に介入するものではありません。対象となる患者さんの病期や移植に関する情報（年齢、性別、疾患、ドナーの種類、前処置、移植片対宿主病予防法、治療後の予後、再発の有無）、その患者さんに関する原発性悪性腫瘍の詳細（癌腫、組織型、病期）、治療内容（抗がん剤の種類と投与回数、放射線療法の部位と線量）について二次調査を行い、頂いたデータを解析し、学会などで公表します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究機関

日本造血細胞移植学会のワーキンググループに参加する研究者が共同して全国の造血細胞移植施設のデータを用いて行う研究です。福井大学医学部附属病院の担当者が、解析

用データの作成と統計解析を行います。

6. 研究期間

研究実施期間は、倫理委員会によって実施が承認された日から2025年3月31日までです。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記のご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院血液内科
本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科
医師 堺田 恵美子
043 (222) 7171 内線5259

研究代表機関 : 福井大学医学部附属病院血液・腫瘍内科
所在地 : 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
電話番号 : 0766-61-3111 内線4274
研究代表者 : 新家 裕朗